



下関北高校だより

(令和元年7月8日発行)

山口県立下関北高等学校 (平成30年4月開校)

〒759-5511 下関市豊北町滝部 1003 番地

TEL (083) 782-0023 FAX (083) 782-0183

高校生活の様子は豊北・下関北高校HPでも紹介しています。

<http://www.houhoku-h.ysn21.jp>

■ 第1回学校運営協議会開催

6月14日(金)午後6時から、今年度最初の学校運営協議会を開催しました。委員の自己紹介のあと、会長・副会長の選出が行われ、会長に北高夢ロード実行委員会の岡崎新太郎様、副会長に下関市立大学の天野かおり様が選ばれました。

その後の協議では、学校運営方針や学校評価書についての承認、今年度の地域と学校が連携した取組内容(地域による学校支援、学校による地域貢献)の検討が行われました。

委員の皆様からは、「地域の方の中にはコミスクの活動を知らない人もいるので、もっと積極的に宣伝すべきである。」「豊北町では小中学校の統合が進み、スクールバスで登校する児童生徒が増え、地域と子どもたちとの関わりが減ってきている。大人が、地域全体で子どもたちを育てていくという意識を持つ必要がある」「豊北・下関北高校が行っている、個に応じたきめ細かい学習指導は大きな魅力なので、それを外に向かってしっかりとPRすべきである」「生徒を集めるのに大切なのは進路保障である」など、様々な視点から建設的な意見をたくさんいただきました。



■ 「ツール・ド・しものせき2019」ボランティア参加

6月16日(日)に開催された「ツール・ド・しものせき」に、本校のJRC部・ボランティア研究会の生徒がボランティアとして参加しました。下関北運動公園をスタートし、豊浦町、豊北町、豊田町、菊川町をめぐって再び運動公園に戻ってくるという総距離約130kmのロングコースの参加定員は1300人、距離が短いショートコース(約45km)は300人という一大イベントです。

本校の生徒は土井ヶ浜弥生パークに設けられた豊北エイドポイントでの飲料や食料の提供、角島フォトポイントでの記念写真撮影の誘導、補助など、2か所に分かれてボランティアを行いました。



豊北エイドポイントでは、次々に到着する選手に、バナナやスポーツ飲料、豊北町の名産である青のり羊羹や二見饅頭を手渡しました。好天に恵まれた分、体力の消耗が大きかったのか、ほとんどの選手が羊羹や饅頭を受け取って美味しそうに食べてくださいました。

角島フォトポイントでは、角島大橋やコバルトブルーの海を背景に、記念写真撮影のボランティアをして、選手の皆さんに喜んでいただきました。



■ 職業理解ガイダンス・面接ガイダンスを実施

6月18日(火)の6・7限、1・2年生を対象とした職業理解ガイダンスを実施しました。大学・短大・専門学校の先生方を講師としてお招きし、①IT・情報処理・ゲーム、②医療事務・診療情報管理士、③ホテル・観光・プライダル、④公務員、⑤美容・理容・メイク・エステ、⑥調理師・製菓衛生士・カフェ、⑦保育・幼児教育、⑧介護福祉・社会福祉、⑨スポーツ、⑩声優・音楽、⑪看護、⑫理学療法士・作業療法士の12の講座が設けられ、生徒は興味のある職業に関する講座を2つずつ受講しました。



講師の先生方からは、それぞれの職業のやりがいや苦労、また、その職業に就くための具体的な進路について、パンフレットやパワーポイント資料を用いて説明していただき、1・2年生にとっては、将来の進路について考える貴重な体験となりました。

また3年生は7限に、今年度3回目となる面接ガイダンスを受講し、大原簿記公務員専門学校の森正登先生から、進学・就職試験時における面接事項及びマナーについて、実践的な指導を受けました。



■ 地域探究Ⅰ「文化・文芸グループ

2年生のBコース選択者が履修する地域探究Ⅰの「文化・文芸」グループでは、俳句づくりに取り組んでいます。

6月12日(水)は、校内を吟行して俳句を作りましたが、6月19日(水)は、少し遠出をして角島灯台まで行きました。美しい自然の中で、各自思い思いに俳句を詠みました。

来週は、菊舎顕彰会(豊北町出身で、女芭蕉とも称される江戸時代の俳人、田上菊舎を顕彰する会)の岡昌子先生に学校に来ていただき、これまで生徒が制作した俳句を論評していただきます。

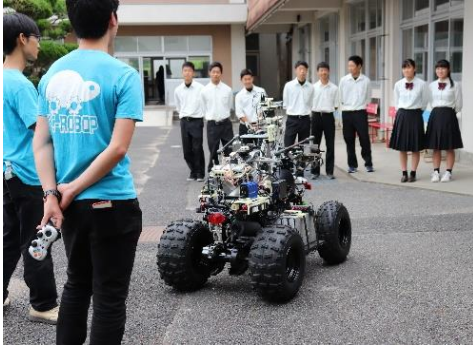


■ 下関市豊北町学生交流ワークショップ

6月22日(土)、本校の体育館で「下関市豊北町学生交流ワークショップ」が開催されました。

主催の一般社団法人BC-ROBOP 海岸工学会の事務局を務める吉富容さんは本校の卒業生であり、また、翌日にはホテル西長門リゾートで海岸清掃のボランティアが行われることから、本校を会場に開かれたこの催しは、海岸の清掃や美化活動、地域との交流活動等に取り組んでいる九州・山口の大学の各サークルが、日頃の活動の様子を発表し合って情報を交換し、交流を深めようとするものです。

当日は、長崎大学、九州工業大学、九州大学、鹿児島大学、下関市立大学、水産大学校の各サークルが発表を行い、特別ゲストの九州大学大学院工学研究院の津守不二夫先生、渚の交番代表の新名文博さんが講演されました。



会場となった本校からは、2年生の岩見夏海さんと濱田愛美さんが学校を代表して、昨年度から取り組んでいる「ハロかぼランタンプロジェクト」(「角島大橋をハロかぼランタンでライトアップ!」を合言葉に、ハロウィンで使う観賞用かぼちゃを活用した交流振興・生産振興をめざすプロジェクト)について発表しました。大学生に交じっての発表で緊張もあったと思いますが、本校の取組を分かりやすく説明してくれました。

休憩時には、九州工業大学 社会ロボット具現化センターが、ビーチクリーンロボットの実演を行い、本校の生徒も操縦を体験させてもらいました。



■ 心肺蘇生法講習会(3年生)

6月25日(火)7限に、豊浦西消防署豊北出張所から5人の職員の方に来ていただき、3年生を対象とした心肺蘇生法講習会を実施しました。

初めに、本校のPTA副会長でもある 小山秀紀 様 から心肺蘇生法が必要となる場面や、AEDの使用法について全般的なお話をいただいた後、5つのグループに分かれて、AEDの使用法と心臓マッサージ(胸骨圧迫)の実技を行いました。

練習用の器具を多く用意していただいたおかげで、生徒たちは繰り返しAEDの使い方や心臓マッサージの練習をすることができたので、今日一日で、かなり上達したのではないかと思います。

いざという時に今日の練習の成果が発揮できるよう、これからも折に触れ、今日学んだことを思い出して復習してもらいたいと思います。



■ 「北高会」豊北・下関北高に寄付

6月25日(火)、豊北高校の卒業生で下関市役所職員(主に合併前の旧豊北町役場職員)の皆さんでつくる「北高会」から、会費の一部を豊北・下関北高校に送っていただきました。

「北高会」の会長で豊北総合支所長の 西島一明 様 は、「母校の部活動が活躍し、学校が活気づいてもらいたい」と述べられ、山本校長は「心のこもった温かい御支援に感謝します。皆さんの期待に応える学校づくりをしっかりと進めてまいります。」とお礼を述べました。こうした北高会からの支援は、2008年から続いており、今年で12回目になります。北高会の皆様、ありがとうございました。



■ 栗野っ子ふれあいフェスタに参加

1学期末考査最終日の7月3日(水)、JR長門栗野駅で、栗野小学校の児童さんが地域の方を招いて日頃の学習の成果を発表する「栗野っ子ふれあいフェスタ」が開かれました。



事前に代表の児童がポスターを持って本校を訪れ、「ぜひ来てください」と御招待をいただいていたので、児童の活躍を応援しようと、総合文化部と栗野小学校出身の生徒19名が、マイクロバスで大勢押しかけました。

会場には地域の方々が大勢訪れ、駅の待合室に入りきれないほどの大盛況ぶりでしたが、栗野小学校の8人の児童も、町の様子や学校近くの「串山」について調べたことを、ポスターや写真などを使って堂々と発表していました。また、本校の生徒は、児童が出すクイズに答えたり、発表に対する感想を述べたりすることで、フェスタを盛り上げるのに一躍買っていました。発表の後は、児童や地域の方が育てた野菜の販売もあり、参加した本校の生徒も十分楽しめたフェスタでした。

